

「ふるさと八百津」を
学ぶ総合的な学習

和知小学校

“豊かな自然と輝かしい伝統のある「ふるさと八百津」に誇りをもてるようにしたい。”和知小学校では、地域へ積極的に働きかけ、ふるさとを知り、ふるさとが大好きになる教育を進めています。低学年の生活科では、自分たちが生活する和知の自然や施設などについて学びます。

3年生からは総合的な学習の時間を使って、各学年ごとにテーマを設定し、調べ学習をしていますのでその一端を紹介します。

3年生 『八百津せんべいのひみつを探る』

3年生は八百津町特産の八百津せんべいについて学びます。サクツとした歯ごたえで甘くておいしい八百津せんべい。まずは、自分たちでせんべいを焼いてみました。でも、少しも美味しくありません。そこで、美味しいせんべいを焼くにはどんな秘密があるのかを工場に行ってみたり、話を聞いたりして探りました。



工場見学では、美味しいせんべいにするためにいろいろな工夫があることを見つけました。また、新しい味の開発をしたり、衛生面にも気をつかったりするという働く人たちの苦勞も学ぶことができました。



4年生 『「石川」を探検しよう！』

4年生は学校の近くを流れる「石川」を探検し、環境について学びます。子どもたちは「石川」に入って生物を捕獲して、生物の住む生息場所から水の透明度を調べたり、水質の検査をしたりします。昔と違って川へ入る体験が少なくなった子どもたちは、「石川」で初めて見る生き物に歓声を上げていました。



また、「石川」は、透明度が高く、きれいな水であることがわかりました。

いつまでもこの豊かな自然を残していかななくてはいけないという気持ちになりました。

5年生 『和知から食と農を考える』



5年生は地域の方の協力を得て、米作りを学びます。まずはしろかきです。子どもたちは水ぬるむ5月、土の感触を楽しみながら、

広い田を駆け回りました。そして、田植え。一株一株を、まっすぐ丁寧に植えていきます。稲の生長を観察しながら、いよいよ10月に稲刈り。昔ながらの手法で鎌を使って刈り取り、その後、脱穀体験もしました。収穫したお米は、参観日に、みんなでおにぎりを作り、親子で美味しくいただきました。



6年生 『和知から世界へ』

6年生は八百津が生んだ偉人「杉原千畝氏」、和知小の宝物「パッテロー人形」について学びました。

杉原千畝記念館を見学したり、図書館の本などで調べたりして、人道精神を学び、また、パッテロー人形について詳しい講師を招いてお話を聞き、平和の大切さを学びました。



昔のくらしや世界の人々の生活と比べながら、今の自分を改めて見つめ直し、新たな自分探しをしてほしいと考えます。

この八百津町で毎日生活しながら、見ているようで見ていないこと、知っているようで知らないことがたくさんあります。そんなところに目を向けてみると新たな発見がたくさんあります。そんな学びから、子どもたちがふるさと八百津の町を大好きになってくれればと願っています。